

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校備品購入事業			会計	款	項	目	大	小
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校教育課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	宮本 信一				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒・教員	意図	学習環境の充実
事業内容	各学校に予算を配当し、教材用、校具用、図書用等に備品を購入する。			
事業開始から現在までの状況変化	生徒増加による学級増に伴う備品の整備を行った。理科教育設備整備等補助金（補助率2分の1）を利用して、理科備品の購入及び更新を行い備品の充実を図っている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	備品購入発注件数	277	279	189	件	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
関連する備品をまとめて入札することで費用の抑制を図った。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	32,476,285	28,356,790	22,347,348
事業費(b)(円)	30,416,785	26,343,190	20,369,748
うち一般財源	27,777,785	23,870,190	17,201,748
職員給与費(c)(円)	2,059,500	2,013,600	1,977,600
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	中学校の教育環境や設備の充実を図るために備品を購入し、老朽化への対応を行う。	③取組における課題(Check)	生徒数の増加及び更新が必要な備品が増加する中、限られた予算の中で効率的に調達する必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	教育環境や教材教具等の充実を図るため、各校の状況を把握し、計画的に備品の整備を実施した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	各学校が購入している備品をとりまとめ、可能な備品については一括購入を行うなど、経費の抑制を図る。